



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 三共生興株式会社

コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 賢祥

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室ゼネラルマネージャー (氏名) 下川 浩一

TEL 06-6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	25,029	△13.1	2,091	△14.7	2,493	△14.5	1,654	△23.4
27年3月期第3四半期	28,817	△5.1	2,453	△1.9	2,914	3.8	2,160	7.0

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,468百万円 (△69.3%) 27年3月期第3四半期 4,780百万円 (△11.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	36.56	—
27年3月期第3四半期	47.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	56,620	36,206	63.3
27年3月期	57,647	35,420	60.9

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 35,861百万円 27年3月期 35,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△3.1	3,100	△4.9	3,300	△13.0	2,400	△25.2	53.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	60,000,000 株	27年3月期	60,000,000 株
28年3月期3Q	14,737,396 株	27年3月期	14,737,341 株
28年3月期3Q	45,262,650 株	27年3月期3Q	45,262,732 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)におけるわが国経済は、政府、日銀一体となった景気浮揚策を受けて企業収益が緩やかな回復基調にありましたが、一方で新興国における経済成長率の鈍化や、急激な原油安によるデフレ懸念など先行き不透明な要因も多く、予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、長期化した消費低迷に加え、暖冬による冬物重衣料の不振も加わり、一段と厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、徹底した経費の削減と不採算取引の見直しを図るなど企業基盤の整理に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比13.1%減の25,029百万円、営業利益は前年同期比14.7%減の2,091百万円、経常利益は前年同期比14.5%減の2,493百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比23.4%減の1,654百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

ファッションブランド商品の販売におきましては、国内市場では、長引く消費低迷に加え、暖冬の影響でコート類を中心とした冬物衣料の販売が伸びず、収益面でも影響を受けました。

また、海外市場では主力の中国市場で景気後退の影響が顕著となり、高額商品の販売落込みなど消費が低迷、売上面、利益面とも低調に推移いたしました。同様に、香港市場でも消費の落込みに加え、高止まりする家賃など経費面での圧迫要因も強く、収益の改善には至りませんでした。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比10.8%減の13,143百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比12.3%減の1,729百万円となりました。

② 繊維生活関連事業

繊維製品OEM事業におきましては、消費の回復が見られない中、取引先企業によるブランド絞込みなど厳しい状況が続きました。このため取引内容の見直しや不採算取引からの撤退など事業効率の向上を図り、さらに徹底した経費の削減を図るなど、収益力の強化に努めました。また、寝具などの販売におきましては、厳しい価格競争が続き苦戦いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比14.7%減の11,088百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比10.2%減の244百万円となりました。

③ 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとする東京・横浜・神戸等の不動産に係る賃貸事業におきましては、修繕費等費用の増加もありましたので、売上高は前年同期比1.3%減の1,323百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比9.0%減の358百万円となりました。

④ その他

ビルメンテナンス事業、内装工事業等におきましては、売上高は前年同期比27.0%減の706百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比8.1%減の35百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて356百万円(1.8%)減少し、19,407百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が509百万円減少、現金及び預金が259百万円減少した一方で、商品及び製品が675百万円増加したことなどによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて670百万円(1.8%)減少し、37,212百万円となりました。これは投資有価証券が430百万円減少、土地が281百万円減少したことなどによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,139百万円(8.0%)減少し、13,070百万円となりました。これは短期借入金が1,177百万円減少、未払費用が297百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が201百万円増加したことなどによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて672百万円(8.4%)減少し、7,344百万円となりました。これは長期借入金が340百万円減少、繰延税金負債が203百万円減少したことなどによるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて785百万円(2.2%)増加し、36,206百万円となりました。これは利益剰余金が975百万円増加、純資産から控除している為替換算調整勘定が64百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が257百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績につきましては、平成27年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資
本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしま
した。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取
得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更い
たします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行って
おります。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財
務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事
業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から
将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,421	7,162
受取手形及び売掛金	7,162	6,652
商品及び製品	4,334	5,010
仕掛品	13	13
原材料及び貯蔵品	11	12
その他	823	559
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	19,764	19,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,613	8,415
土地	3,787	3,506
その他(純額)	452	359
有形固定資産合計	12,853	12,281
無形固定資産		
商標権	5,164	5,184
その他	217	291
無形固定資産合計	5,381	5,475
投資その他の資産		
投資有価証券	18,911	18,480
退職給付に係る資産	8	8
その他	1,375	1,614
貸倒引当金	△647	△647
投資その他の資産合計	19,647	19,455
固定資産合計	37,883	37,212
資産合計	57,647	56,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,742	3,943
短期借入金	7,750	6,572
1年内返済予定の長期借入金	520	470
未払費用	1,058	760
未払法人税等	465	623
その他	673	701
流動負債合計	14,210	13,070
固定負債		
長期借入金	1,060	720
繰延税金負債	5,382	5,178
退職給付に係る負債	599	583
その他	974	861
固定負債合計	8,016	7,344
負債合計	22,227	20,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,165
利益剰余金	23,035	24,011
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	26,966	27,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,219	8,961
繰延ヘッジ損益	0	△7
為替換算調整勘定	△1,097	△1,032
退職給付に係る調整累計額	△6	△2
その他の包括利益累計額合計	8,116	7,919
非支配株主持分	337	344
純資産合計	35,420	36,206
負債純資産合計	57,647	56,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	28,817	25,029
売上原価	16,819	14,137
売上総利益	11,997	10,892
販売費及び一般管理費	9,544	8,800
営業利益	2,453	2,091
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	374	411
為替差益	32	—
その他	169	110
営業外収益合計	579	524
営業外費用		
支払利息	64	47
店舗等除却損	16	39
為替差損	—	8
その他	37	27
営業外費用合計	118	122
経常利益	2,914	2,493
特別利益		
固定資産売却益	—	9
関係会社清算益	18	—
特別利益合計	18	9
特別損失		
減損損失	—	36
特別退職金	—	66
特別損失合計	—	103
税金等調整前四半期純利益	2,932	2,399
法人税、住民税及び事業税	706	752
法人税等調整額	55	△18
法人税等合計	761	734
四半期純利益	2,171	1,665
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,160	1,654

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,171	1,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,774	△257
繰延ヘッジ損益	51	△7
為替換算調整勘定	781	64
退職給付に係る調整額	1	3
その他の包括利益合計	2,609	△196
四半期包括利益	4,780	1,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,769	1,457
非支配株主に係る四半期包括利益	11	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ファッション 関連事業	繊維生活 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,680	12,455	998	28,135	682	28,817	—	28,817
セグメント間の内部売 上高又は振替高	61	548	341	950	285	1,236	△1,236	—
計	14,742	13,003	1,340	29,086	967	30,053	△1,236	28,817
セグメント利益	1,972	272	394	2,638	38	2,677	△223	2,453

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△223百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△307百万円及びセグメント間取引消去等83百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ファッション 関連事業	繊維生活 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,039	10,542	1,001	24,582	446	25,029	—	25,029
セグメント間の内部売 上高又は振替高	104	546	322	973	259	1,232	△1,232	—
計	13,143	11,088	1,323	25,555	706	26,261	△1,232	25,029
セグメント利益	1,729	244	358	2,332	35	2,367	△276	2,091

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△276百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△249百万円及びセグメント間取引消去等△26百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維生活 関連事業	不動産 賃貸事業	計			
減損損失	36	—	—	36	—	—	36